

家族葬の訃報連絡の出し方 | 電話・LINE・文例でわかりやすく解説

はじめに | 家族葬の訃報連絡で迷う方へ

家族葬を行う場合、特に悩まれるのが訃報を誰に・どの方法で・どう伝えるかという点です。一般葬と違い、参列者を限定するため、連絡の仕方を間違えると誤解を招くこともあります。この記事では、家族葬における訃報連絡の基本的な考え方から、電話・LINE・文例まで、すぐに使える形で解説します。

家族葬の訃報連絡 | 基本的な考え方

家族葬では、参列をお願いする方にのみ事前に訃報連絡をするのが基本です。

- 参列をお願いする方 → 事前に連絡
- 参列をお願いしない方 → 原則として事後連絡

無理に全員へ一斉連絡をする必要はありません。

訃報連絡の手段別 | 使い分けの目安

電話で連絡する場合（最も丁寧）

以下の方には、電話での連絡が望ましいです。

- 親族（兄弟姉妹・叔父叔母など）
- 故人と特に親しかった方
- 年配の方

LINE・メールで連絡する場合

普段から LINE やメールで連絡を取っている方には、簡潔な文面での連絡でも問題ありません。

- 親しい友人・知人
- 若い世代
- 遠方で電話が難しい方

会社関係への連絡

会社関係には、まず上司・総務に連絡し、社内での共有範囲を相談するのが一般的です。

家族葬の訃報連絡 | 必ず入れるべき内容

- 故人の氏名・続柄
- 亡くなった日
- 家族葬で執り行うこと
- 参列をお願いするかどうか
- 香典・供花の取り扱い（辞退の有無）

【電話用】家族葬の訃報連絡 文例

もしもし、突然のお電話で失礼いたします。

○○（続柄）の△△でございます。

実は、○月○日に○○（故人）が永眠いたしました。

葬儀は故人の遺志と家族の意向により、近親者のみの家族葬にて執り行う予定です。
取り急ぎご報告まで申し上げます。

【LINE・メール用】訃報連絡 文例（参列をお願いしない場合）

突然のご連絡失礼いたします。

○月○日に○○（続柄）が永眠いたしました。

故人の遺志と家族の意向により、家族葬にて静かに見送らせていただきました。

事後のご報告となりましたこと、何卒ご理解ください。

【LINE・メール用】訃報連絡 文例（参列をお願いする場合）

突然のご連絡失礼いたします。

○月○日に○○（続柄）が永眠いたしました。

ささやかではございますが、家族葬にてお見送りを予定しております。

ご都合がよろしければ、ご参列いただけましたら幸いです。

香典・供花を辞退する場合の一文

誠に勝手ながら、故人の遺志により、香典・供花などのお心遣いは辞退させていただいております。

訃報連絡でよくあるNG例

- 誰に参列してほしいのかが曖昧
- 家族葬であること伝えない
- 一斉送信で形式的な文章を送る

東村山市での家族葬 | 訃報連絡の傾向

東村山市周辺では、親族は電話、友人・知人はLINEやメールで連絡し、
参列範囲を明確に伝えるケースが多く見られます。

よくある質問（FAQ）

Q. 家族葬でも訃報は出した方がいいですか？

A. 参列をお願いする方には事前に、お願いしない方には後日報告する形が一般的です。

Q. LINEで訃報を伝えるのは失礼ですか？

A. 普段からLINEでやり取りしている相手であれば問題ありません。丁寧な文面を心がけましょう。

Q. 会社にはどこまで伝えればいいですか？

A. 上司や総務にまず伝え、社内での共有範囲を相談するのが安全です。

まとめ | 家族葬の訃報連絡で大切なこと

- 参列者と非参列者で連絡方法を分ける
- 家族葬であること明確に伝える
- 簡潔・丁寧・配慮ある文面を心がける

訃報連絡は、ご家族にとって心身ともに負担の大きい場面です。

完璧を目指さず、相手への配慮が伝わることを大切にしましょう。